

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

令和8年度「若手・新入社員教育研修」を実施

当工業会は、人材養成対策事業の一環として、本年度で10回目となる「若手・新入社員教育研修」を、9月2日（水）～4日（金）に2泊3日の合宿形式で実施し、会員企業20社から過去最多の43名が参加しました。

本研修は、今後の船用工業を支える若手・新入社員に対して、①社会人としての考え方やマナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会の提供を目的としています。今年度より、多数の会員企業が所在する関西・中国地区等からアクセスの便利な岡山県に場所を変更して実施しました。

研修初日は、当工業会の人材養成検討委員会アドバイザーである小野正治氏（当工業会 顧問／元富士貿易㈱ 代表取締役会長）、矢野吉治氏（神戸大学 名誉教授）及び当会常務理事の市川による講義を実施し、海事産業全般の基礎知識の習得、船用工業の現状と課題など業界を取り巻く状況の理解などに努めました。また、隣同士のペアで互いに紹介する形式での研修生紹介や、講義終了後の懇親会を通じて、参加者相互の積極的な交流を図りました。

研修2日目は、午前中にストレスに対処する方法を学ぶ「レジリエンス研修」を初めて実施しました。午後は、株式会社新来島サノヤス造船を訪問し、同社の事業内容等について説明を受けた後、実際の生産設備や建造中の200mを超えるばら積み船の内部を見学しました。その後の懇親会では、同社の設計部等の社員の方にも参加して頂き、活発な意見交換が行われました。

研修3日目は、グループに分かれ、各グループを一つの企業に見立て、コスト、スケジュール管理、他社との連携等を意識したプロジェクト推進を模擬したグループワークを実施しました。

参加した研修生からは「他社と交流する機会が少なかったためとても新鮮だった。3日間とは思えないぐらい深い繋がりができた。」「親睦の深まる研修が多く、楽しく学べた」といった感想があり、本研修は成功のうちに終了しました。

記

1. 実施期間：令和8年9月2日（水）～9月4日（金）
2. 研修場所：倉敷シーサイドホテル（岡山県倉敷市）
3. 施設見学：株式会社新来島サノヤス造船 水島製造所
4. 参加者：20社43名（平均年齢：24.6歳）

(株)赤阪鐵工所、イーグル工業(株)、(株)カゴオ、(株)金剛コルメット製作所
(株)ジャパンエンジンコーポレーション、商船三井テクノトレード(株)
双日マシナリー(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツインフィニアース(株)、大洋電機(株)
(株)帝国機械製作所、東京計器(株)、西芝電機(株)、(株)パナシアジャパン
阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ヒエン電工(株)、富士貿易(株)、(株)マキタ
ヤンマーパワーソリューション(株)

5. 研修内容：

目的	研修科目	講師
船用業界の現状を 多角的に学ぶ	船用工業の概要	事務局
	船用工業のグローバル戦略について	小野 アドバイザー
	船の四方山話	矢野 アドバイザー
社会人として 必要な心得を身に付ける	レジリエンス研修 ①逆境に立ち向かう力を養う ②メンタルを立て直す方法を学ぶ	(株)インソース
時間的制約の中での確に 相手に情報を伝える	研修生自己紹介	
技術開発の現場を学ぶ	造船所見学 (株)新来島サノヤス造船)	
船用業界について チームで考える	グループワーク (ビジネスカードゲーム 「The プロジェクトマネジメント」)	(株)プロジェクト デザイン
諸行事	オリエンテーション、交流会 (BBQ)、閉会式等	

以上

(事務局問合せ先) 業務部 山内／椿 TEL：03-3502-2041



講義の様子



研修生による自己紹介の様子



懇親会（初日）の様子



レジリエンス研修の様子



集合写真



造船所見学（質疑応答）の様子



懇親会 2 日目 (BBQ)



グループワークの様子



以 上